

植樹祭、森林教室



植樹の説明を受けている様子

令和6年9月24日（火）、鹿角市河川漁業協同組合主催の植樹祭及び森林教室へ署員5名が参加しました。

河川漁業協同組合から開会宣言、鹿角地域振興局からは森林の持つ役割と植樹方法について、鹿角市からは二酸化炭素吸収に杉がどれだけ必要であるかといったクイズを、当署からも森林保護の大切さを呼びかけさせていただきました。



植樹風景

当署職員含む、総勢約40人が植樹を行いました。大湯小学校5年生が安全に楽しく植樹する姿を見守り、協力しながらブナ、ミズナラ、ベニヤマザクラなど700本の苗を植えました。

大湯小学校の子供たちの明るさに大人たちも植樹を気持ち良く行うことが出来ました。植えた樹木が子供たちの未来に残るように、真っ直ぐとすくすく育ってほしいです。

中滝ふるさと学舎にて昼食をとったあと、大湯小学校の5年生と森林教室を行いました。初めに、挨拶・森林についてのお話を行い、測樹機器の用途・使い方の説明をした後で実際に体験していただきました。使用した機器は測竿、輪尺、ブルーメライス、バーテックスで2班に分かれて測樹をしました。

大湯小学生の積極的な姿勢を見て、気づきを与えてもらえる時間になりました。



測樹風景(バーテックス)

今回の活動を通して、森林・林業への興味が少しでも広がることを願っています。